

安全保障理事会決議 1797 (2008)

2008年1月30日、安全保障理事会第5828回会合にて採択

安全保障理事会は、

コンゴ民主共和国に関する決議および議長声明、とりわけ決議 1756 (2007) および 1794 (2007) を想起し、

とりわけ国際連合コンゴ民主共和国ミッション (MONUC) を通じての、移行後の時期におけるコンゴ民主共和国における平和および安定の統合に貢献し続ける支持を再確認し、

コンゴ民主共和国における平和と安定の長期的な回復のため、近々行われる予定の地方選挙を含む、選挙の重要性、国民和解および法の支配の確立を想起し、

コンゴ民主共和国における選挙過程を支援し続ける国際的協力機関を奨励し、

2007年10月11日および11月30日付の事務総長書簡 (S/2007/694) ならびに組織、準備および地方選挙の実施において、コンゴ当局への MONUC による支援に関する、2007年11月14日付の MONUC に関する事務総長第24報告書 (S/2007/671) に含まれている勧告を歓迎し、

1. MONUC に対して、国際的協力機関および国際連合国別現地チームとの密接な調査の下、2007年10月11日および11月30日付事務総長書簡において勧告されているように、組織、準備および地方選挙の実施において、国家独立選挙委員会を含む、コンゴ当局に対して支援を提供する権限を与える。
2. この問題に引き続き積極的に取り組むことを決定する。